

北野病院からのお知らせ

救急講習会のお知らせ

救急車が来る前の
AEDと心肺蘇生がポイントです！



救急部看護師による胸骨圧迫・AEDなど心肺蘇生法の講習会です。実際に成人・小児の人形を使って胸骨圧迫・AEDの講習を行います。

もしもの時のために、ぜひご参加ください。
どなたでもご参加いただけます。
※お子様と一緒に受講も可能です。

■日時：奇数月(5・7・9・11・1・3月)第2金曜日
10:00～
■場所：北野病院 5階 第6会議室

参加費は無料です。

開催日程		場 所
平成28年	5月13日(金)	第6会議室 (北野病院5階)
	7月8日(金)	
	9月9日(金)	
	11月11日(金)	
平成29年	1月13日(金)	
	3月10日(金)	

■お申込み (TEL)06-6312-1221
北野病院 救急部(1階)へ直接、またはお電話での
予約、もしくは当日10時に北野ホール前にお越し
ください。

腎臓病教室のお知らせ

腎臓病を知っていただくために腎臓病教室を開催します。
ご家族の方も一緒にご参加ください。
なお、内容に変更する場合がございますので、予めご了承
いただきますようお願いいたします。

◇腎臓病について
慢性腎臓病とその治療について
日にち／平成28年5月31日(火)
担当者／医師

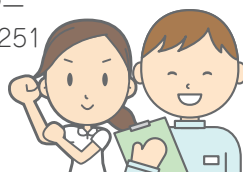
◇今日からできる！食事療法の基本とコツ(仮)
日にち／平成28年6月28日(火)
担当者／管理栄養士

◇検査で分かること
慢性腎臓病と運動療法
日にち／平成28年7月26日(火)
担当者／臨床検査技師・理学療法士

■時間：14:30～15:45

■場所：きたのホール

■お問い合わせ：血液浄化センター
TEL.06-6312-1251



無料でご参加いただけます。また、事前のお申込なども必要
ありませんので、お気軽にお越しください。

5階プラナホールイベント

◇土屋医院音楽部によるサマーコンサート
日時／平成28年6月15日(水) 15:00開演
出演／土屋医院音楽部



無料でご参加いただけます。また、事前のお申込なども必要
ありませんので、お気軽にお越しください。

医学研究募金寄附者一覧 (平成28年1月～3月)

【法人】株式会社湯山製作所様、
共英製鋼株式会社様、
大阪硝子株式会社様、匿名12社様

【個人】金城 京様、南 正博様、船井 哲良様、
岸 忠男様、西川 佳江様、鳥江 三也様、
陳 豊子様、青木 咲子様、
匿名15名様(順不同)



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信

No.56 2016. 春号

公益財団法人 田附興風会 医学研究所
北野病院



特 集

認知症とは？

動脈硬化を防ぐことで、認知症を予防しよう。

医療のコトバ これって何？

NICUとは、赤ちゃんのための集中治療室です。

かんごホットToday

がん患者サロン リボنزハウス「ほっこり会」のご案内

あなたのまちのホームドクター

イークリニック (大阪市北区)

きたのトピックス

北野病院からのお知らせ

ご自由
にお持ち帰
り
ください

特集

認知症とは 動脈硬化を防ぐことで、 認知症を予防しよう

神経内科 主任部長 松本 禎之
副部長 小松 研一

「必要な検査と、
かかりつけ医の
重要性」



【左】松本主任部長
【右】小松副部長

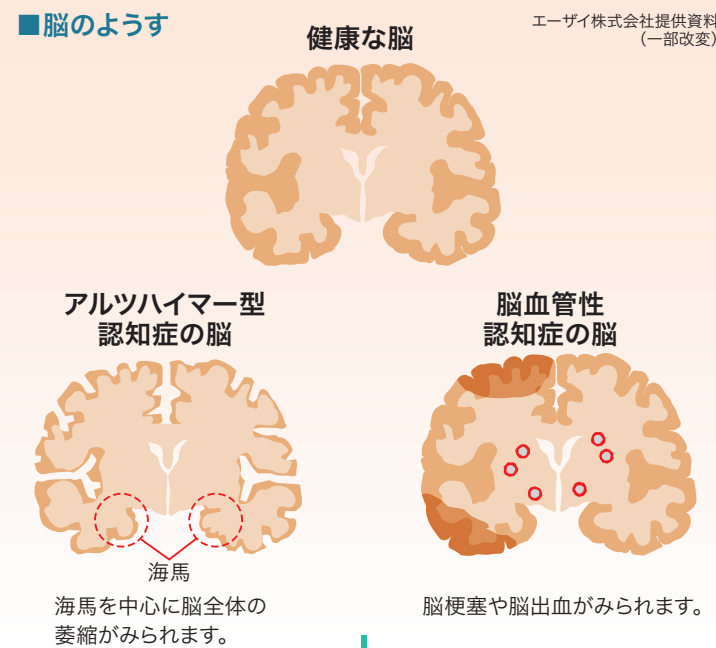
平成24年度の厚生労働省研究班によると、65歳以上の高齢者のうち、認知症を発症している人は約462万人（高齢者の約15%）であることが明らかになっています。さらに、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）の高齢者も含めると、65歳以上の4人に1人が認知症もしくはその予備軍となります。そこで、今後ますます増加が見込まれ社会問題となっている「認知症」に対して、どのように対応すべきか神経内科 小松副部長にお話を伺いました。

認知症の予防には普段の健康管理が重要

Q1.認知症とは？

認知症とは、もの忘れに加えて以前できていたことができなくなる、道に迷う、言葉が上手に話せなくなるといった症状があり、かつそれらの症状のために家庭や仕事で支障をきたす状態とされています。認知症の原因は、脳が萎縮する「アルツハイマー型」、脳の血管に異常が起こる「脳血管性」が大半を占めますが、これらの脳の障害だけでなく、「肝・腎疾患」、「電解質異常」、「内分泌異常」、「正常圧水頭症」、「うつ病」といったその他の治療可能な病気を見逃さないことが重要です。

■脳のようす



アルツハイマー型認知症

「βアミロイド」という異常なたんぱく質が脳にたまって神経細胞が減少することにより、脳萎縮が起こります。記憶を担っている海馬という部分から萎縮が始まり、だんだんと脳全体に広がります。

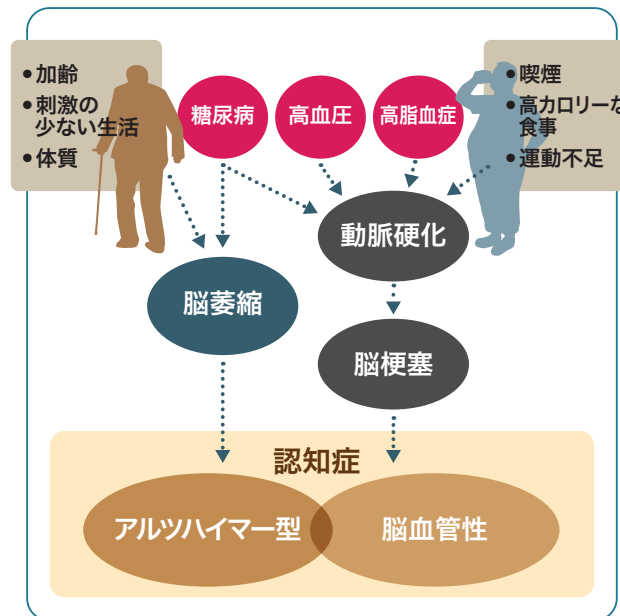
脳血管性認知症

脳血管の破綻（脳梗塞や脳出血）により起こります。脳血管障害をきっかけに突然発症する場合と、小さな脳梗塞を繰り返すうちに徐々に認知障害が現れる場合があります。

※海馬とは…海馬は脳内にある器官で、記憶に深く関係しているといわれています。

Q2.認知症を予防するには？

認知症の予防薬に関する研究はさかんに行われていますが、残念ながら現在のところ効果が立証されたものではありません。ただ、認知症の大半を占める「アルツハイマー型」「脳血管性」の認知症には、動脈硬化への対策が重要とされています。動脈硬化の原因とされる高血圧・糖尿病・高脂血症、喫煙・運動不足は、認知症のなりやすさに関係していると言われています。そのため、生活習慣病の治療に加え、バランスのよい食事、十分な運動、読書、家族・友人を介した刺激のある生活をするのが、認知症の予防につながります。



かかりつけの先生との連携や、地域の介護サービスの利用が重要

Q3.認知症を発症したらどうしたらよいのか？

ある日を境に突然「表情や話の内容、動作がおかしい」といった症状が出た場合は、脳卒中の可能性がありますので速やかに受診しましょう。また、認知症の症状がでる病気にはさまざまな原因がありますので、少しでも症状が出れば、神経内科での診察や脳の画像診断などの検査を受けることをお勧めします。当院の外来では、認知機能検査（簡易テスト）を受けたり、手足の機能に異常がないか診察を行ったりします。さらに、頭部MRIと血液検査で、上で述べたような「治療可能な病気」を見落とさぬようチェックします。診断の結果、「アルツハイマー型」と考えられる場合には、かかりつけの先生と連携して認知症治療薬の導入を行い、「脳血管性」の場合には、生活習慣病の治療をお勧めしています。

また、左記で述べた一般的な治療のほかに、脳神経外科と連携し、正常圧水頭症の治療にも力を入れています。集中力や意欲低下に加え、歩行障害や尿失禁が起こったり、もしくは頭部MRI検査で特徴を認めた場合にこの病気を考えます。治療は、入院のうえ、腰から注射をして脳脊髄液を一定量抜き、処置の前後で認知機能や歩行の状態が改善するか確認します。改善が確認できた患者様には、その効果を持続させるために、脳脊髄液を腹腔内へ流すためのチューブを埋め込む「シャント術」を行うことにより、ある程度症状を改善することができます。

当院での受診をご希望の方へ

■医療機関におかかりの場合

主治医と相談のうえ、紹介状を発行いただくと地域医療サービスセンターで事前を受診のご予約を取ることが可能です。（紹介状があると、普段の状況が伝わるため、より適切な対応が可能となります。）

■医療機関におかかりでない場合

ご予約いたしかねますので、当日の受付時間内（8:45～11:30）にお越しください。（待ち時間がかかるほか、選定療養費として8,640円が必要です。）

※詳しい手続き方法については、ホームページをご覧ください。

「外来受診される方へ」

<http://www.kitano-hp.or.jp/for-gairai>

右のQRコードをご利用ください。



認知症治療におけるサポート体制

介護保険などの社会資源の利用に関しては、当院の地域医療サービスセンターでご相談が可能です。



「ここ」がポイント!!

●認知症の予防には、普段の健康管理が重要です。かかりつけ医に相談して、動脈硬化の予防に励みましょう。

●認知症の原因は、「アルツハイマー型」「脳血管性」といった脳の障害によるものが大半ですが、なかには特別な原因が潜んでいる可能性もあります。認知症が疑われた場合は、必要な検査を受けましょう。

●認知症と診断されたら、かかりつけの先生や地域連携室に相談して、必要な介護サービスを受けましょう。



医療のコトバ

これって何？

聞いたことがあるような、ないような？
難しい医療用語などを
わかりやすく解説します！

新生児集中治療室 = NICUとは？

A
nswer

生まれてすぐに治療を必要とする赤ちゃんを
お預かりして、元気にお家に帰ることができるように
お手伝いをします。

NICU (Neonatal Intensive Care Unit) とは、赤ちゃんのための集中治療室です。出産予定日より早く小さく生まれた赤ちゃんや、すぐに治療を必要とするような状態の赤ちゃんをお預かりしています。北野病院のNICUには毎年200人以上の赤ちゃんが入院しており、100人前後は北野病院以外から搬送されています。NICUの隣にはGCU (Growing Care Unit) があり、比較的状态が安定しており、退院に向けて準備中の赤ちゃんをお預かりしています。北野病院はNICUが12床、GCUが6床あり、NICUには赤ちゃん3名に対して1名の看護師が配属され、専属医師とともに24時間体制で診療しています。人工呼吸器や脳低体温療法装置、一酸化窒素吸入療法など、高度な医療機器を備えており、生後間もなく手術を必要とするような小児外科疾患にも対応可能です。また、入院中から臨床心理士や理学療法士、言語聴覚士など多職種のスタッフが関わらせていただけることも当院の特色の1つです。

さらに、様々なストレスを最小限にした環境を整えることによって、赤ちゃんの健やかな成長や発達を促すことを目的とした「ディベロップメンタルケア」も行っています。一例としては、保育器にカバーをかけて過剰な光や音の刺激を無くすほか、スナッグルというポジショニング器具やバスタオルなどを利用して、赤ちゃんが子宮



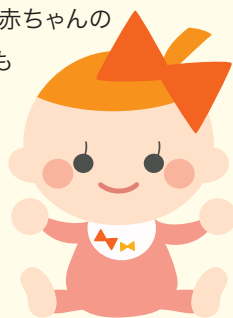
必要な処置のほとんどはNICU内で行うことができます。

内にいる時と同じような姿勢で安心できるようにしています。なお、ご両親がいつでも見守れるように面会は24時間体制にしています。

このように、NICUは集中治療をおこなう場所であると同時に、赤ちゃんの成長を見守る場所でもあります。



毎日2回、赤ちゃんの問題点をチーム全員で確認・共有しています。



看護の現場からホットなニュースをお届けします
かんごホットToday



リボنزハウス「ほっこり会」は、
がん患者様の相談会として、
毎月開催しています。



当院は、患者様や医療者が集まり、がんに関する情報の共有やケア体験を聞く場を提供する「リボنزハウス」に加入しています。その取り組みとして、毎月第2曜日の13時～15時に第1会議室で、がん患者様同士の相談会である「ほっこり会」を開催しています(平成28年4月より、開催曜日と場所が変更になりました)。

がん患者様やご家族にとって医療者や専門家からの支援や情報は、「治療」を受ける上では必要ですが、「生活」を営む上では、それだけでは分からない様々なことがあります。がん治療を体験した患者様から具体的な情報やケア体験を聞いたり、治療を受けたときの様々な思いなどを共有したりすることで、これから治療を受ける方々にとっては励ましや安心にもなりますし、今まで治療をしてこられた方にとっても、今後少しでも自分らしく快適な生活を送れる情報を得る機会にもなります。

実際に参加された方からは「治療のイメージがわいた」、「気持ちが前向きになった」、「色々な体験談を聞けて気が楽になった」、「皆の明るさに元気をもらえた」といった声が聞かれます。

一人で悩んでいるより、みんなで話をしたり、聞いてもらったりすることで、気分が楽になったり、解決できる事もあるかもしれません。会場には、ソーシャルワーカーや看護師、がん患者様のサポートスタッフなどもいますので、これから治療を受けられる方、ご家族ががんになってどんなことができるのかと思い悩んでいる方、同じようなつらい経験をした人の話を聞きたい方、まずは気軽に参加してみてください。なお、開催時間中は、体調やご都合に応じて自由に入退室いただけます。日時や場所の変更などもございますので、お越しの際は、当院のがん相談支援センター(TEL:06-6131-2555)までお問い合わせください。



カラーコーディネートについてのミニセミナー

「地域医療サービスセンター」では、「かかりつけ医」を探お手伝いをしています。お気軽におたずねください。

あなたのまちのホームドクター

大阪市
北区

イークリニック

【診療科目】内科、呼吸器内科、リハビリテーション科

地域のかかりつけ医として
まずは、ゆっくり時間をかけて
患者さんのお話を聞くことから
始めます。

今回ご紹介するのは、北区にあるイークリニックです。院長の李先生は、平成10年にクリニックを開業し、専門分野である喘息、感染症、インフルエンザ、結核等の呼吸器内科疾患治療はもちろんのこと、地域のかかりつけ医として、心療内科領域から小児、婦人科の相談など幅広く対応しています。

イークリニックでは、地域の高齢者が生き生きと地元で生活してほしいという思いから介護分野にも力を入れています。2005年には通所リハビリテーション「イーデイケア」をクリニックの2階と3階に開設、通うことが難しい方には訪問リハビリテーションを行うなど、介護や支援が必要な方それぞれに合ったサービスを提供しています。



あざやかな緑の看板が目印です

イークリニック

〒531-0073
大阪市北区本庄西1-13-15

TEL.06-6292-0155
<http://www.goleeclinic.org/>

●診療時間：
月～水、金曜 9:00～12:00、15:30～18:30
木、土曜 9:00～12:00
●休診日：木・土曜午後、日曜・祝日

●アクセス：地下鉄谷町線中崎町駅より徒歩約7分、地下鉄谷町線・堺筋線天神橋筋六丁目駅より徒歩約9分



李 雲柱(イ ウンジュ)先生



明るくて開放的な受付

李先生は患者様の話をゆっくり聴くように心がけており、特に初診時にはゆっくり時間をかけて患者様のお話を伺っています。また患者様の緊急度がすぐにわかるように医療機器を揃えており、状態によって早急に北野病院をはじめとする総合病院へ紹介できる体制を整えています。

いつも笑顔を決やらず優しい口調で話す李先生。ご家族ごとかかりつけの方もいらっしゃることから、患者様の信頼の厚さが伺えます。

● 主任部長就任のご紹介



腎泌尿器センター長 兼
腎臓内科 主任部長

塚本 達雄

■専門領域
腎臓内科全般



腎泌尿器副センター長 兼
泌尿器科 主任部長

岡田 卓也

■専門領域
泌尿器科全般

● 「腎臓病教室」の開催報告

多くの方に腎臓病について
知っていただけるように、多職種が
連携して腎臓病教室を開催しています。

平成28年1月28日(木)に開催した腎臓病教室では、臨床検査技師による「検査でわかる事」、薬剤師による「腎臓病の薬について」をテーマとし、多くの方々に参加いただきました。参加いただいた方からは、普段疑問に思っていることについて多くの質問をいただき、大盛況でした。今後も、皆様の理解がより深まるよう内容を充実させて開催していきます。腎臓病教室はどなたさまでも、予約なしで無料参加していただけます。詳しい日程は、本誌おしらせの他、ホームページをご覧ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



腎臓病教室開催の様子

● 市民医療講座の開催報告

わかりやすく医療を解説！
今回も多くの方に、
わかりやすいと好評でした！

市民医療講座は、一般市民の方を対象に医療について分かりやすく解説することを目的に、年4回開催しています。今回は、平成28年2月20日(土)に、「病院でうける放射線被ばくについて～放射線は、身体にどう影響するのか！～」というテーマで、診療放射線技士にご講演いただきました。当日は、多くの方々に越いただき、大変分かりやすかったと好評でした。本講座は、無料でご参加いただけますので、お時間のあの方はぜひお越しください。



次回の市民医療講座

【日 時】平成28年6月4日(土)
14:00～15:00
【場 所】5階 きたのホール
【テーマ】脳卒中 ～特に脳梗塞の最近の
考え方、予防と治療について～
【講演者】神経内科 里井副部長

患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信 No.56 2016.春号

企画・製作／北野病院広報委員会 発行日／2016年4月23日
www.kitano-hp.or.jp/